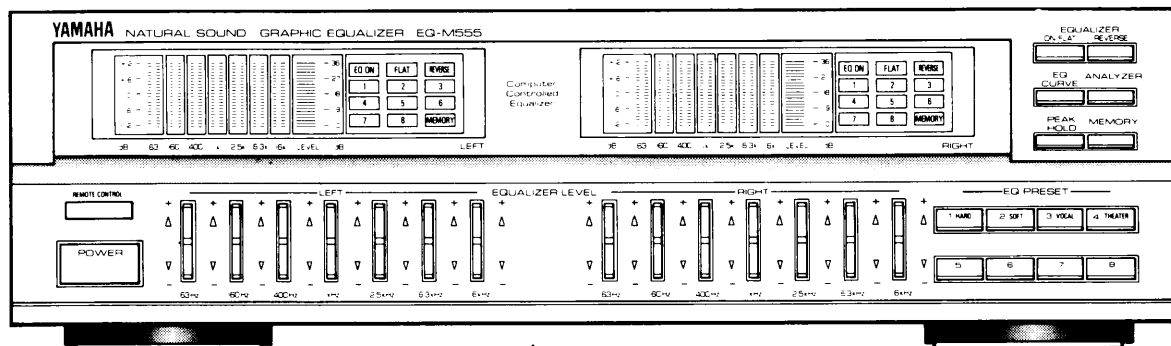


EQ-M555

NATURAL SOUND GRAPHIC EQUALIZER

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ・ステレオグラフィックイコライザーEQ-M555をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

EQ-M555の優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なくご使用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みくださいますようお願いいたします。また、取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

特長

●L/R独立コントロール

63Hz～16kHzまでを7分割し、L/R独立してコントロールすることができます。

●イコライザーカーブのメモリーが可能

ご自分でアレンジしたイコライザーカーブを左右ペアで4組までメモリーに記憶し、ワンタッチで呼び出すことができます。

また本機には、4種類の固定メモリーがプリセットされています。

●L/R独立のスペクトラムアナライザー装備

イコライザーコントロールの周波数バンドと対応した7分割のスペクトラムアナライザーをL/Rそれぞれに装備、周波数分布をより正確に確認できます。

●リモコン操作可能

ヤマハAVシステム“AV EDGE 555 CDR”とシステムを組めば、システムに付属のリモコン(RS-AV555)でイコライザーのON/OFF(FLAT)やプリセットメモリーの呼び出しなどの操作が離れたところからできます。実際のリスニングポジションで音を聴きながらプリセットメモリーを呼び出すことができます。

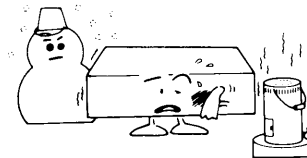
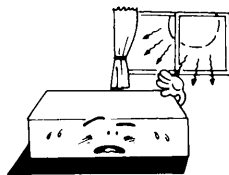
目次

特長.....	1
ご使用上の注意.....	2
接続のしかた.....	3～5
各部の名称とはたらき.....	6～7
音質調節のめやす.....	8
プリセットメモリーについて.....	8
操作のしかた.....	9
故障かなと思ったら.....	10
参考仕様.....	10
ヤマハホットラインサービスネットワーク.....	11

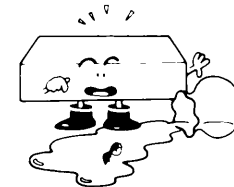
ご使用上の注意

高温・低温はさけて！

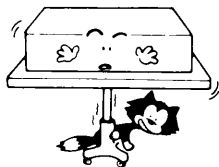
窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。



ほこり・水気をさけて！

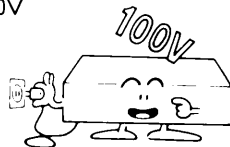


不安定な場所をさけて！

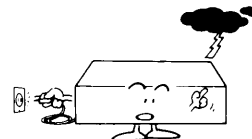


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V

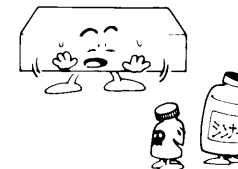


雷が近づいたら

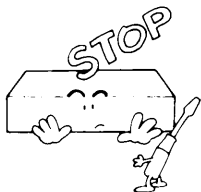


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

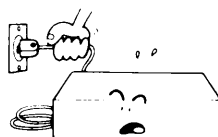
薬物厳禁



開けないで！



引っぱらないで！



保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



こわれた？



10ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

取扱説明書はかならず保管してください。



ファイルなど

接続のしかた

接続時の注意

1. すべての機器の電源を切って接続してください。
2. 接続コードは左チャンネル(L)、右チャンネル(R)を確認して正しく接続してください。
3. 電源コードは、すべての接続が終わってから接続してください。
4. 組み合わせるアンプによって、入力操作(ソースの選択)が異なります。「接続のしかた」を一度お読みになってから接続をしてください。

予備電源コンセントについて

予備電源コンセント(AC OUTLET)は、本機のPOWERスイッチに関係なく常に他のオーディオ機器に電源を供給できるコンセントです。接続する機器の消費電力をお確かめのうえ、必ず100W以下のものに使用してください。

ヤマハAVシステム AV EDGE 555 CDR と組み合わせるとき、または、ACCESSORY端子付のプリメインアンプと接続するとき

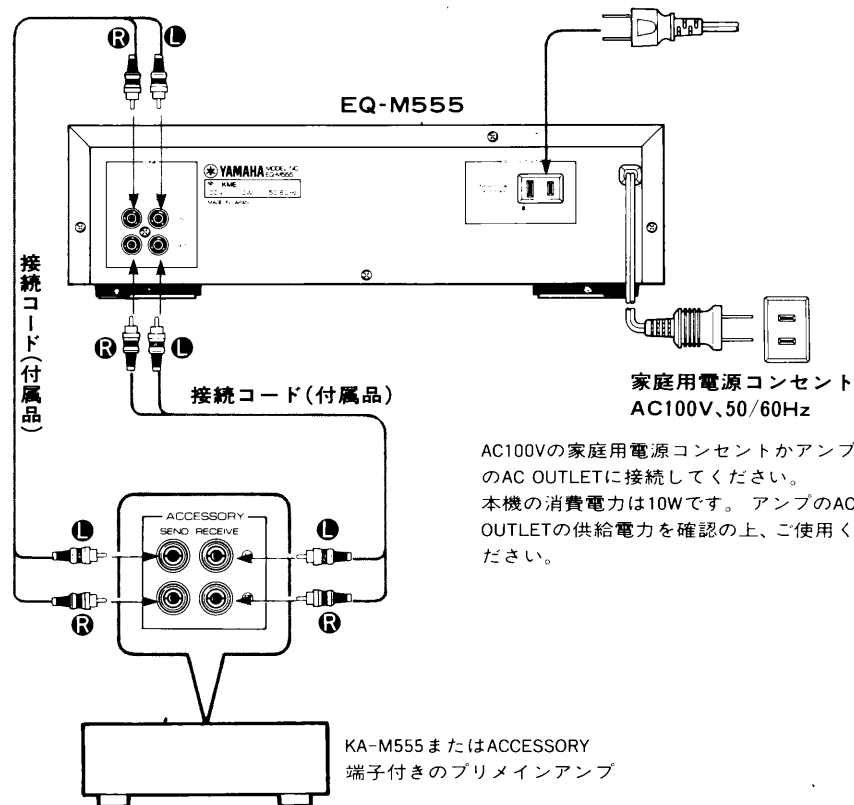
カセットアンプKA-M555またはプリメインアンプのACCESSORY端子と接続します。ACCESSORY端子はYAMAHAの一部のアンプに装備されている機能です。

1. カセットアンプKA-M555またはプリメインアンプのACCESSORY端子に差し込まれているジャンパーヒンを2本とも抜きます。
2. ACCESSORY端子の「SEND」と本機の「IN」端子を付属の接続コードで接続します。
3. ACCESSORY端子の「RECEIVE」と本機の「OUT」端子を付属の接続コードで接続します。

この接続では、カセットアンプまたはプリメインアンプの入ットセレクターで選んだソースの音質調節ができます。

他のオーディオ機器の電源プラグ

消費電力が最大100Wの機器まで接続できます。
本機のPOWERスイッチがOFFの状態でも使用できます。



AC100Vの家庭用電源コンセントかアンプのAC OUTLETに接続してください。本機の消費電力は10Wです。アンプのAC OUTLETの供給電力を確認の上、ご使用ください。

プリメインアンプと接続するとき

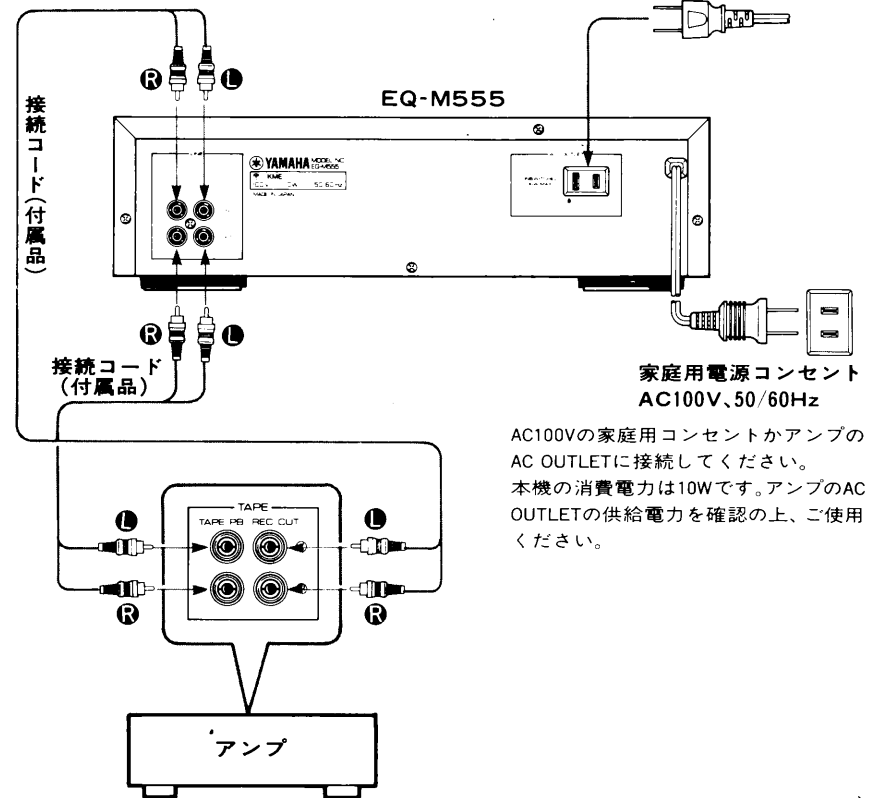
プリメインアンプのテープ端子と接続します。

1. テープ端子の「REC OUT」と本機の「IN」端子を付属の接続コードで接続します。
2. テープ端子の「TAPE PB」と本機の「OUT」端子を付属の接続コードで接続します。

この接続では、アンプによってソースの選択方法が異なります。次のようにしてお楽しみください。

	アンプ	スイッチをセットします	ソースは
1	TAPE MONITORスイッチがある場合	TAPE MONITORスイッチをONにセット。	インプットセレクターで選びます。
2	REC OUTセレクターがある場合	インプットセレクターをTAPEにセット。	REC OUTセレクターで選びます。

※TAPE MONITORスイッチとREC OUTセレクターが両方あるアンプをお使いのときは、「1」の操作が便利です。その場合REC OUTセレクターはSOURCEの位置にしてください。

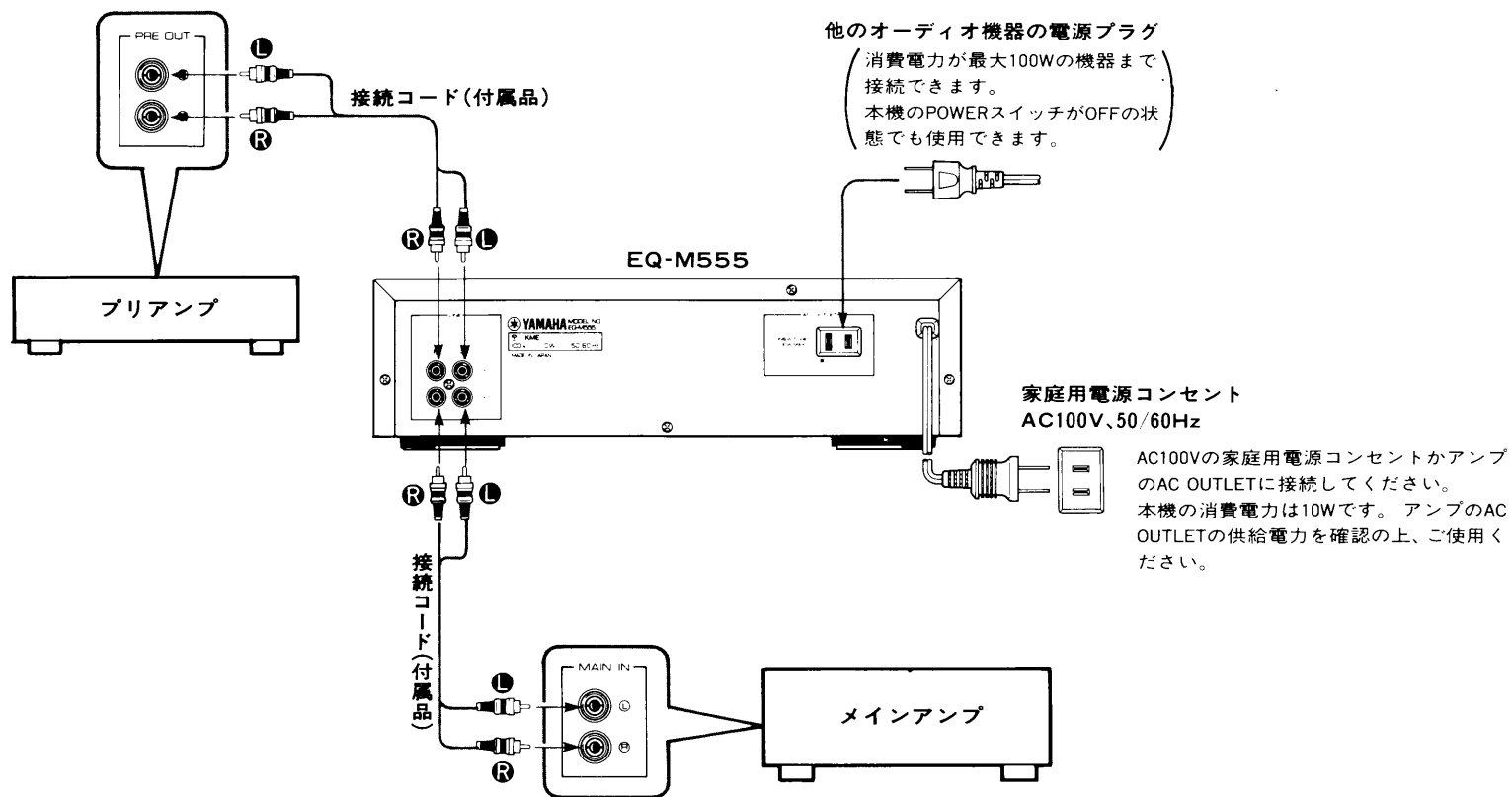


セバレートアンプと接続するとき

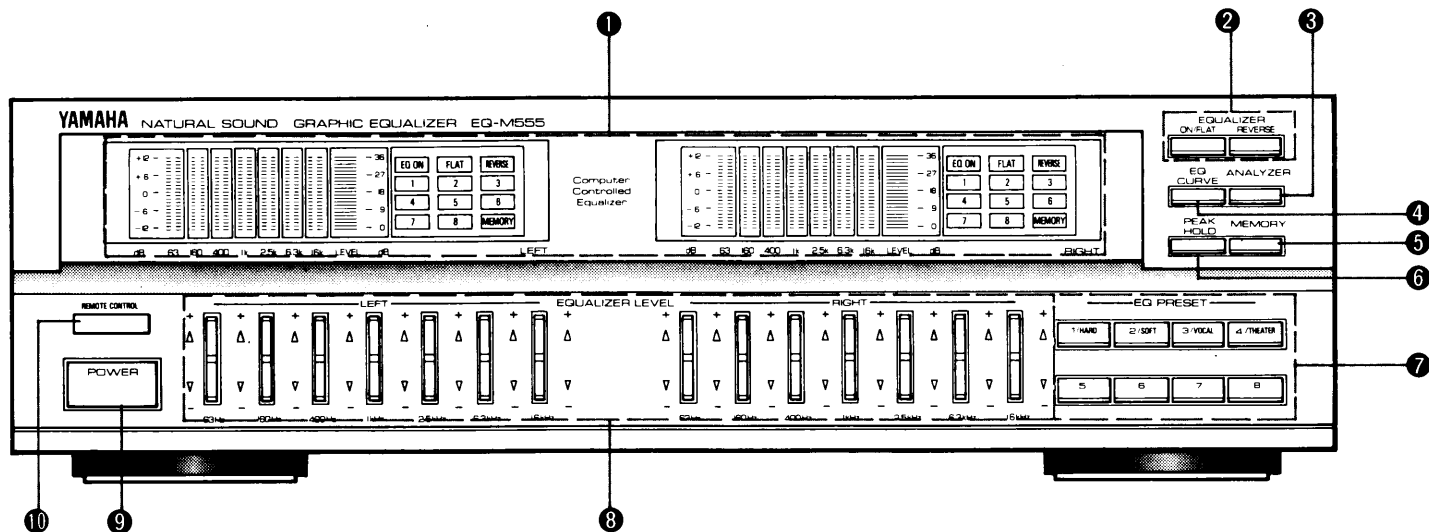
プリアンプとメインアンプを結ぶ信号ラインの間に本機を接続します。

1. プリアンプの「PRE OUT」端子と本機の「IN」端子を付属の接続コードで接続します。
2. メインアンプの「MAIN IN」端子と本機の「OUT」端子を付属の接続コードで接続します。

この接続では、プリアンプのインプットセクターで選んだソースの音質調節ができます。

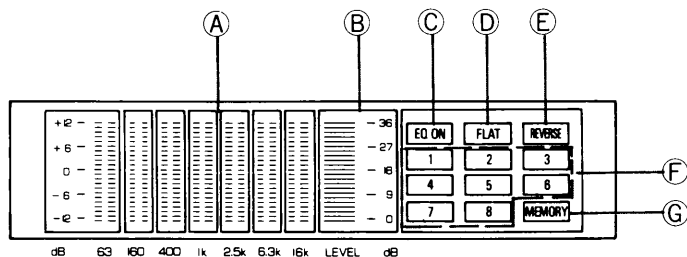


各部の名称とはたらき



①ディスプレイ

ディスプレイはLEFT(左)チャンネル、RIGHT(右)チャンネルそれぞれあり、音質調節の状況を表示します。



②スペクトラム/イコライザーカーブ(EQ CURVE)表示

スペクトラムまたはイコライザーカーブの表示をするディスプレイです。スペクトラムの場合はバー表示、イコライザーカーブの場合はドット表示になります。

③LEVELメーター

裏面のOUT端子から出力されるレベルを表示します。

④EQ ONインジケーター

イコライザーがはたらいしているとき点灯します。消えているときは、フラット(平坦)な特性になっています。

⑤FLATインジケーター

イコライザーがはたらいしていないとき点灯します。点灯しているときは、フラット(平坦)な特性になり、音質調節されていない音になります。

⑥REVERSEインジケーター

イコライザーカーブのブースト(強調)/カット(減衰)が反転しているとき点灯します。

⑦プリセットメモリーインジケーター

選ばれているプリセットメモリーの番号が点灯します。

⑧メモリーインジケーター

MEMORYキーを押すと約5秒間点滅します。

② ^{イコライザー}EQUALIZERキー

^{オン}ON/^{フラット}FLAT：イコライザーをはたらかせるか(EQ ON)、はたらかせないか(FLAT)を選択するキーです。押すたびに切り替わり、どちらの状態にあるのかはディスプレイに表示されます。

FLATインジケーターが点灯している場合、EQUALIZER LEVELキーまたは、EQ PRESETキーを押すと、左右のFLATインジケーター表示はEQ ON インジケーター表示に変わります。

^{リバース}REVERSE：イコライザーカーブの特性を反転させるキーです。押すたびにブースト(強調)とカット(減衰)が反転します。反転しているときは、REVERSEインジケーターが点灯し、反転したイコライザーカーブがディスプレイに表示されます。

注) FLATインジケーターが点灯している場合、REVERSEキーは作動しません。

③ ^{アナライザー}ANALYZERキー

このキーを押すと、ディスプレイはスペクトラム表示になります。

④ ^{イコライザー}EQ ^{カーブ}CURVEキー

このキーを押すと、ディスプレイはイコライザーカーブ表示になります。

⑤ ^{メモリー}MEMORYキー

ご自分でアレンジしたイコライザーカーブをプリセットメモリーのユーザーメモリー(5～8)に記憶させるときに押すキーです。

このキーを押して、MEMORYインジケーターが点滅中(約5秒間)にEQ PRESETキー(5～8のいずれか)を押せば、表示されているイコライザーカーブが、選んだ番号のメモリーに記憶されます。

※すでに記憶されているユーザーメモリーの番号にこの操作を実行すると、それまで記憶されていたイコライザーカーブは消えて、新しいものが記憶されますので注意してください。

⑥ ^{ピーク}PEAK ^{ホールド}HOLDキー

ディスプレイがスペクトラム表示のときにこのキーを押すと、ピーク(最大)レベルが数秒間ホールドされ、ピーク値のモニターが容易になり便利です。

もう一度押すと解除されます。

⑦ ^{イコライザー}EQ ^{プリセット}PRESETキー

プリセットメモリーを呼び出したリ、イコライザーカーブをユーザーメモリーに記憶するためのキーです。各番号のキーを押すだけで、そこに記憶されているイコライザーカーブを呼び出すことができます。

プリセットメモリー1～4には、あらかじめヤマハがアレンジしたイコライザーカーブが記憶されています。これは読み出し専用ですので、別のイコライザーカーブを記憶させることはできません。各メモリーの特徴については8ページの「プリセットメモリーについて」をご覧ください。

プリセットメモリー5～8はユーザーメモリーとして、4種類まで、ご自分でアレンジしたイコライザーカーブを記憶させることができます。

⑧ ^{イコライザー}EQUALIZER ^{レベル}LEVELキー

各キーの下部に表示された周波数付近のレベルをL、R別々に±12dBの範囲でコントロールして、音質調節できます。このキーの上側を押すと、その周波数を中心として2dBステップでレベルがブースト(強調)されます。

押し続けると連続的に変化します。逆に下側を押すとカット(減衰)されます。

お好みの音質にアレンジしてください。

各周波数付近の特徴については8ページの「音質調節のめやす」をご覧ください。

⑨ ^{パワー}POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。スイッチを押して電源を入れると、前使用していた際の最後に設定した状態になります。

もう一度押すと電源が切れます。OFF時は、入力信号がそのまま出力されます。

⑩ ^{リモート}REMOTE ^{コントロール}CONTROLセンサー

ヤマハAVシステム“AV EDGE 555 CDR”等に付属のリモコン(RS-AV555等)からの信号を受信するところです。この部分に強い光があたっていたり、リモコンとの間に障害物があったりすると、正しく動作しないことがありますので注意してください。

※本機にはリモコンは付属していません。リモコンの詳しい操作方法についてはAV EDGE 555 CDR等の取扱説明書をご覧ください。

音質調節のめやす

● 63Hz

レベルを下げると、電子楽器などのハム雑音や低域のこもりなどが取り除かれ、音がクリアになります。

レベルを上げると、パイプオルガンやドラム、ベースなどの重低音が強調され、音に安定感が出てきます。

● 160Hz

この付近は音楽の低域を支える音域で、低音部の厚みをコントロールすることができます。また、リスニングルームなどにより音がこもる場合には、レベルを下げることでこもりが取れます。

● 400Hz

楽器や人の声を含み、音楽の基礎となる帯域で、音の力強さが左右されます。レベルを上げると、音に力強さ、量感、あたたかさなどが加わってきます。

● 1kHz

音楽の臨場感(音の奥行きと深み)に影響する帯域で、特にボーカル曲などの再生に有効です。レベルを上下させますと、声が前に出てきたり、奥に引っ込んだりします。

● 2.5kHz

もっとも耳につきやすく、刺激的に感じる帯域です。わずかに増強するだけで楽器の明るさ、華やかさ、歯切れの良さなどが出てきます。逆にレベルを下げぎみにすると、疲れにくい聴きやすい音になります。

● 6.3kHz

高音域です。弦や管楽器なども強調され、音の艶など音質に微妙な変化を与えます。レベルを下げると、刺激的に聞こえる声の子音や、テープのヒスノイズなども減らすことができます。

逆にレベルを上げると、例えばシンバルの“シャーン”という響き、余韻までも表現できます。

● 16kHz

超高音域で、楽器そのものの音というより余韻の領域に入り、音楽の繊細感、雰囲気感を左右します。

レベルを上げると、シンバルやトライアングルなどは快い響きと共に、音に広がりや繊細感が出てきます。

プリセットメモリーについて

本機には、ヤマハがアレンジしたイコライザーカーブがあらかじめ記憶されている、書き換えることのできない4つの固定メモリーと、ご自分でアレンジしたイコライザーカーブを記憶できる4つのユーザーメモリーがあります。

● 固定メモリー

プリセットメモリー1～4には、ヤマハがアレンジしたイコライザーカーブがすでに記憶されています。再生するソースに合わせて、キーを押すだけで簡単に音質調節できます。(別のイコライザーカーブを記憶させることはできません。)

1/HARD : 低音域の増強と、高音域にハリをもたせたメリハリのあるセッティングです。力強い低音とくもりのない高音が特徴です。ロック、フュージョンなどに。

2/SOFT : BGMなどに最適のセッティングです。耳につきやすい高音域をおさえ、長時間聴いても疲れにくいソフトさが特徴です。

3/VOCAL : ボーカルの抜けのいいセッティングです。男性ボーカルの帯域である400Hz付近と、女性ボーカルの帯域である1kHz付近をブーストしています。

4/THEATER : 映画のセリフが聴きやすくなるセッティングです。映画の中のいろいろな音の中でも、最も多い160Hz、400Hz付近の帯域をブーストしています。セリフが聴き取りやすくなり映画が見やすくなります。

● ユーザーメモリー

プリセットメモリー5～8には、ご自分でアレンジしたイコライザーカーブを左・右チャンネルペアで4組まで記憶できます。

※ユーザーメモリーは、POWERスイッチをOFFにしたり、電源プラグをコンセントから抜いてしまっても消えることはありません。

また、固定メモリーは、電源プラグを抜いてあっても消えてしまうことはありません。

操作のしかた

＜操作の前に＞

- 接続するアンプなどのトーンコントロールなどは、“FLAT”あるいは“DEFEAT”にしてください。
- 再生するソースの選択は、アンプによって操作が異なりますので3ページの「接続のしかた」の項を参照してください。
- EQUALIZER ON/FLATキーを押すたびに、音質調節した音とそうでない音が切り替わり、聴き比べることができます。

プリセットメモリーの呼び出ししかた

- ①POWERスイッチを押して電源を入れます。
- ②呼び出したい番号のEQ PRESETキーを押します。
押したキーの番号と記憶されているイコライザーカーブがディスプレイに表示されます。ディスプレイがスペクトラム表示になっているときは、イコライザーカーブが約5秒間表示されたあとスペクトラム表示に戻ります。

音質調節のしかた

- ご自分でイコライザーカーブをアレンジする場合、
- ・プリセットメモリーをアレンジする
 - ・プリセットメモリーをREVERSEキーで反転させたものをアレンジする
 - ・フラット(平坦)の状態からアレンジする
- の3つの方法があります。

- ①POWERスイッチを押して電源を入れます。
- ②EQ CURVEキーを押してディスプレイをイコライザーカーブ表示にします。
- ③プリセットメモリーをアレンジするときは、EQ PRESETキーで呼び出します。また、フラット(平坦)の状態からアレンジするときは、EQUALIZERキーのON/FLATを押します。
- ④音を聴きながらEQUALIZER LEVELキーでお好みの音質に調節します。

※アレンジしたイコライザーカーブはメモリーしなければ、プリセットメモリーを呼び出した時点で消えてしまいます。残しておきたいイコライザーカーブは4種類までユーザーメモリーに記憶できますので、次のメモリーの操作を行なってください。

イコライザーカーブのメモリーのしかた

- ①前記「音質調節のしかた」にしたがって、イコライザーカーブを設定します。
- ②MEMORYキーを押します。
MEMORYインジケーターが約5秒間点滅します。
- ③MEMORYインジケーターが点滅している間に、EQ PRESETキーの5～8のいずれかを押します。
これでメモリーは完了です。次回からは、EQ PRESETキーを押すだけで記憶されているイコライザーカーブを呼び出すことができます。

※すでに記憶されている番号を選び、この操作を実行すると、それまで記憶されていたイコライザーカーブは消えてしまいますので注意してください。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外でなにか異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点まで、お問い合わせ・サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源コードのプラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていない。	電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込みなおしてください。
音が出ない。	アンプのインプットセレクターが正しくセットされていない。	正しくセットしてください。
	入力端子の接続コードが確実に差し込まれていない。	接続コードをしっかりと差し込みなおしてください。
スペクトラムが表示されない。	ディスプレイがイコライザーカーブ表示になっている。	ANALYZERキーを押してスペクトラム表示にする。
イコライザーカーブ表示がでない。	ディスプレイがスペクトラム表示になっている。	EQ CURVEキーを押してイコライザーカーブ表示にする。

参考仕様

入力感度	1 V
出力電圧	1 V
周波数特性 (FLAT)	20Hz～20kHz ±0.5dB
イコライザーレベルコントロール	
中心周波数	63Hz, 160Hz, 400Hz, 1 kHz, 2.5kHz, 6.3kHz, 16kHz
可変範囲	±12dB
S/N比(1HF, A)	105dB
全高調波歪率(1kHz, 1V)	0.003%
最大出力(1kHz, 0.03%)	8 V
電源	AC100V, 50/60Hz
消費電力	10W
	(POWERスイッチOFFのとき、6.5W)

外形寸法(W×H×D)	340×98×282mm
重量	2.7kg
付属品	接続コード×2

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

(昭和62年10月1日 現在)

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を本長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テーフデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面ハネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 首都圏営業所 TEL(03)255-5691 神田営業所 TEL(03)255-6767 北関東営業所 TEL(03)255-1825 東京営業所 TEL(03)255-2302
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F 千葉営業所 TEL(0472)47-6622
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市中千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551 名古屋営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンターI 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 大阪営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内 中四国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ホームエレクトロニクス事業本部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10 1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内営業部 TEL.(0534)60-3421
管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。